

お薬（抗生物質）を使わず痛みもない、体に優しい光殺菌治療

光殺菌治療の手順

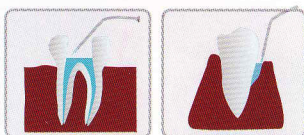
① 感染源の除去

通常の治療を行います。根の中の掃除や、根の表面の歯石など感染源を除去します。



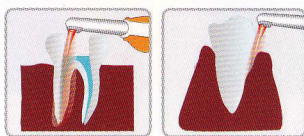
② 光感受性ジェルの注入

光感受性ジェルを、根の中、歯周ポケット、粘膜上に注入します。



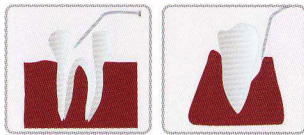
③ 光殺菌

10～30秒光を照射することで、光殺菌します。



④ 洗浄

光感受性ジェルや死滅した細菌を洗い流します。



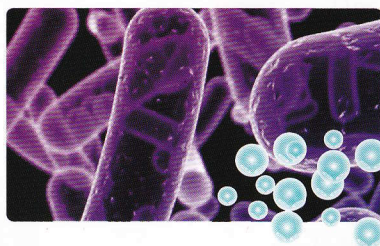
光殺菌治療の特徴

- ✓ 痛みはありません。
- ✓ あらゆる細菌に効果を示します。
- ✓ お薬（抗生物質）を使わないため耐性菌が発生しません。
- ✓ 副作用はなく、繰り返して治療に利用できます。

※ 光過敏症の患者さまには利用できません。

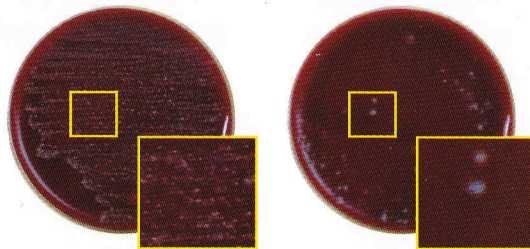
どのように効くのか？

- ① 光感受性ジェルが細菌の細胞壁や膜に取り込まれる。
- ② 特定の波長の光が照射されると、光感受性ジェルがエネルギーを受け取り「活性酸素」を発生する。
- ③ 「活性酸素」が細菌の細胞壁や膜だけを破壊し、殺菌する。



殺菌効果の実験

殺菌効果は目に見えません。そこで簡単な実験を行いました。唾液を薄め、滅菌棒で繁殖培地に擦り付け培養すると、たくさんの細菌の群れ（コロニー）が発生しました（左側）。一方、同じ唾液に光感受性ジェルを注入し、光殺菌した後に培養すると、細菌群はほとんど見られませんでした（右側）。



何もしていない唾液

光殺菌をした唾液

※ 十河基文先生（歯科医師・大阪大学）による実験です。殺菌効果を説明する論文は世界中に数多くあります。

どのような場合に利用するのか？

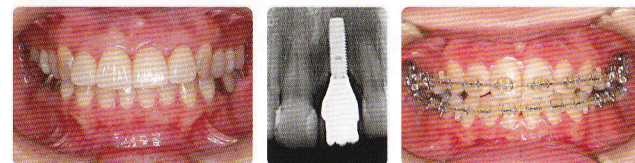
とどめの一撃

通常の治療の上に光殺菌治療を行うと、「とどめの一撃」としての殺菌効果が期待されます。これまでの治療方法では除去し切れない細菌を死滅させ、個人差はありますが治療期間の短縮、感染の再発防止に大きく貢献します。



予防

加えて、光殺菌治療は予防にも有効です。歯周病やインプラントの定期健診、歯ブラシが行き届きにくい矯正治療中のメンテナンスの際に光殺菌治療が効果を示します。



歯周病定期健診

インプラント定期健診

矯正治療中

よくあるご質問

Q1 治療中、痛みはありませんか？

➡ 全くありません。若干の熱と振動があるだけです。

Q2 光感受性ジェルはどんな味がしますか？

➡ 少し甘い味がします。

詳細はスタッフまでお尋ねください。